

# 半田運河周辺ビジョンワークショップ

第三回 レポート 23/12/25 18:30- 場所：旧中埜半六邸



半田運河周辺のエリアビジョンを作るワークショップ。

第3回のテーマは「半田運河周辺のエリアビジョンを決める」

最後のワークショップとなる本日の会場は半田運河沿いにある「旧中埜半六邸」でした。

## 【ゲストスピーチ】

本日はNPO法人半六コラボの杉浦明巳（すぎうらあけみ）さんと、半田商工会議所副会頭の中埜喜夫（なかのよしお）さんにお話を伺いました。

### ○杉浦明巳さん

本日の会場である旧中埜半六邸にて活動をしている杉浦さん。活動に秘められた想いをお話していただきました。

以前杉浦さんは「レッツチタ」という団体を立ち上げ、知多半島にて地域通貨を広める活動をしていたそう。

「地域通貨は本当の意味で地域で活性化させるものだと思っている。」と杉浦さんは言いました。

「今のお金は万能だが、地域通貨はなんでも買えず不便。だけど地域で目の行き届くところで使える安全なお金。お金の仕組みを変えることで地域の問題を変えられる。」とお話していただきました。

### ○中埜喜夫さん

二人目のゲストスピーチは旧中埜半六邸の隣に数百年くらい前の代から暮らしている中埜さん。

中心市街地地域活性化協議会（準備会）の会長も務めています。

まず、協議会の今後の動き方や枠組みについて皆さんに共有していただき、今日決まったビジョンは部会でしっかりと取り組んでいく姿勢を伝えていました。

半田運河に住む一住民としては、1.住民感情への配慮 2.近隣エリアの整合と結合 3.半田市内の他の観光資源との協調・連携 4.運河沿いに眠る観光資源の掘り起こし 5.Cゾーンランドプランの作成 の5つの軸が大事になってくるのではないかと中埜さんはお話しされていました。

お二人の話で共通して印象的だったのは、商店街の昔の賑わいを取り戻したいという想い。その背景を紐解いていくことも半田運河のこれからのビジョンを決める手掛かりになっていきそうです。

#### 【ワークショップ】

ここからはファシリテーションを務めるRWの稲波さんにバトンタッチ。「本日はビジョンからアクションへ、アクションから役割まで考えて行けたら」とのこと。

まずは前回のワークショップにて出たビジョンを一個に絞っていきました。上位概念を作るだけでは綺麗にまとまっていけないので、アクションまでしっかり落とし込むことが大事。ワークの最初に皆さんに今日の意気込みを一人ずつ発表してもらいました。皆さんそれぞれ、半田がこういう街になって欲しいという想いを言葉にすることで、場の空気も温まってきました。

①まずは前回のビジョンの内容をもう一度プレゼンしていただきました。前回出たビジョンは以下の6つ。

- ・勘違いした人たちの酒場
- ・半田運河から発く（ひらく）
- ・いけば会話が弾む街
- ・運河人類学 文化する運河 KOU（酔・考・江）
- ・生（活）かす 究（極）める つな（継繋）ぐ
- ・私の居場所を醸し出す街

質問として「もっと具体的なことでなくていいの。」というものが出ました。

「やった行動がその先どう広がっていきけるか、考えられる言葉がいい。」と稲波さん。眠っている住民たちが動き出すような言葉が理想です。

さらに「そもそも商店街が繁栄してた理由は何か。」という質問も。

機屋さんが多く存在していたことや、料亭がたくさんあったこと、和菓子屋が多くお茶の文化もあったことなどを昔から半田に住む方々が話してくださいました。

また、50年前まで半田の中心地は行けばなんでも揃う街でしたが、郊外化などによってそのような施設もなくなっていったそうです。

②次にそれぞれ、どの意見がいいかを発表してもらいました。

どのグループもそこまで大きく違うこと言っていないので、まとまっていきそうですが、その中でどの言葉が一番しっくりくるかを話してもらいました。

- ・MILABOのパイロットプラントができて世界の最新技術を半田から発信していけることになる。また新しい取り組みをここから始めるというイメージに「発く（ひらく）」という言葉がいいなと思った。
- ・「発く（ひらく）」という言葉から 天涯の海：酔屋三代の物語 が想起された。
- ・「いいね、発いて（ひらいて）るね！」という言葉が交わされたいいな 合言葉にしたい



「発く（ひらく）」がいいのではという意見が数人から出てきました。ここからは「半田運河から発く（ひらく）」に絞って考えていきました。

まずは「半田運河」という言葉を精査。最初にくる言葉をグループワークで書き出してもらいました。人や産業が集まる、より陸側の場所を指す言葉として「湊」というキーワードや、「みなと」という言葉だところら辺をイメージしない、「水辺」は少し違う気がする、半田運河には機能的なイメージがある、などの意見が。

湊からひらく、半田運河みなと発く、半田運河からひらめく、ひらめきの半田運河、運河人が発く、などの言葉が上がりました。

次に、何をひらきたいか具体的に考えていきました。皆さんの意見を包含し、4つの軸が上がってきました。

- ・新しいを発く
- ・文化を発く
- ・商いを発く
- ・輪を発く

徐々にまとまってきましたが、すでに1時間オーバーでしたので最終的なビジョンはここで持ち越しになりました。

#### ●今回決まったこと

- ・ビジョンの軸となる言葉は「発く（ひらく）」に決定
- ・どこからひらくのか、誰がひらくのか、はさらに議論が必要
- ・具体的にひらくものの軸は

「新しいを発く」「文化を発く」「商いを発く」「輪を発く」にまとまりそうだが、要検討

半田運河エリアに対する皆さんのも思いや、街へのモヤモヤなども共有できた時間だったのではないかと思います。またこれからビジョンから、アクションまでしっかり落とし込めるかが鍵になってきます。最後に稲波さんから「自分たちがこの街でやりたいことを挙げて行ってほしい。ビジョンとどう繋がるとやりやすいのか。ビジョンから活動を作りたい。」とのお話がありました。

エリアビジョンはふんわりいかないものにすることが大事なので、皆さんの意見を踏まえつつ残りは中心メンバーでしっかり決めていきます。

